

大学の  
「TOKは日本語教育に貢献できるか？」 岡山大学 森岡明美

＜本発表の流れ＞

IB, TOKってなに？

TOKは大学教育に使える？ ← 教養教育科目としてのTOK導入実践例（岡山大学）

IBの「言語B」科目とTOKの関係は？ ← Language B Guideから

言語BとCCBIとの共通性は？ ← 日本語、スペイン語、英語授業を例に「日本語B」「Spanish B」授業参加と先生インタビュー、English B教科書から

問いへの答え



問いを言い換えると・・・

批判的内容重視の言語教育 CCBI/CBI

IBの言語教育 Language B

クリティカルシンキング

TOK

親和性

これについて説明します。

親和性がある？

**TOKとは？**

**TOK (Theory of Knowledge) : 知の理論**

**IBDP (国際バカロレア ディプロマプログラム)** の必修要件になっているコア科目の一つ。

学際的な観点から個々の学問分野の知識体系を検討し、**理性と客観的精神を養うことを重視する。**  
知識の理論と講義と演習を**2年間にわたり100時間以上**学習し、**小論文と発表作品**を提出する。

(文部科学省大臣官房国際課「国際バカロレアの概要」より)

**IBとは？** (文科省HP参照)

平成29年6月1日現在、世界140以上の国・地域、4,846校において実施されている**教育プログラム**。

- **プライマリー・イヤーズ・プログラム (PYP)**  
【1,509校 (国内：22校)】 3歳～12歳  
精神と身体の両方を発達させることを重視したプログラム。どのような言語でも提供可能。1997年設置。
- **ディプロマ・プログラム (DP)**  
【3,209校 (国内：33校)】 16歳～19歳  
所定のカリキュラムを2年間履修し、最終試験を経て所定の成績を取めると、国際的に認められる大学入学資格 (国際バカロレア資格) が取得可能。  
原則として、英語、フランス語又はスペイン語で実施。1969年設置。
- **ミドル・イヤーズ・プログラム (MYP)**  
【1,398校 (国内：14校)】 11歳～16歳  
これまでの学習と社会のつながりを学ばせるプログラム。どのような言語でも提供可能。1994年設置。
- **キャリア関連プログラム (CP)**  
【136校(国内：-校)】 16～19歳  
生涯のキャリア形成に役立つスキルの習得を重視した、キャリア教育・職業教育に関連したプログラム。一部科目は英語、フランス語又はスペイン語で実施。2012年設置。

IBの目指す学習者像とは？ (文科省HP参照)

**The IB Learner Profile**

- 探求する人
- 考える人
- 信念をもつ人
- 思いやりのある人
- バランスのとれた人
- 知識のある人
- コミュニケーションができる人
- 心を開く人
- 挑戦する人
- 振り返りができる人



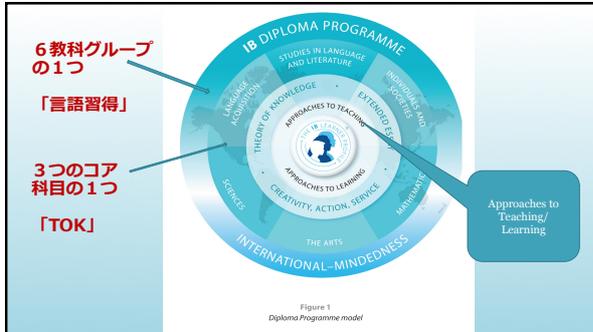
「IBのプログラムは、世界各地で学ぶ児童生徒に、**人がもつ違いを違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人**として、積極的に、そして共感する心をもって生涯にわたって学び続けるよう働きかけています。」

IBDP (11～12年生) の科目

グループ	科目
1 言語と文学	言語A：文学、言語A；言語と文化、文学と演劇
2 言語習得	言語B：初級言語
3 個人と社会	ビジネス、経済、地理、グローバル政治、歴史、心理学、環境システム社会、情報テクノロジーとグローバル社会、哲学、社会・文化人類学、世界の宗教
4 理科	生物、化学、物理、デザインテクノロジー、環境システムと社会、コンピュータ科学、スポーツ・運動・健康科学
5 数学	数学スタンディーズ、数学SL、数学HL、数学FHL
6 芸術	音楽、美術、ダンス、フィルム、文学と演劇

**コア科目**

知の理論 (TOK : Theory of Knowledge)  
課題論文 (EE : Extended Essay)  
創造性・活動・奉仕 (CAS : Creativity/Activity/Service)



### (再び) TOKとは？

<含言葉> How do you know what (you think) you know?

- 知識とはどのようなものか
- 知識を増やす方法とは
- 知識の限界とは
- 知識は誰のものなのか
- 知識の価値とは
- 知識を“持つ”又は“持たない”とはどのような意味なのか

<知るための方法 Ways of Knowing>

8つの知るための方法  
Ways of Knowing

知識の領域

(国際バカロレア・ディプロマプログラムにおける「TOK」に関する調査研究協力会議「国際バカロレア・ディプロマプログラム Theory of Knowledge (TOK) について」文部科学省)

### IB教育と大学教育

IB教育は高校までのもの。→大学は、IBから学ぶものはない？

実情：IBDPの科目は、アメリカなどの大学では、単位として認められる。  
IBDP修了生は2年次に編入できる。  
→ IBDPの質は大学教育に匹敵！？

「知の理論」(IBの基盤)を大学の教養教育に導入しよう！  
育成できる力：検証的思考力(クリティカル・シンキング)  
多角的な視点 多様性を認める心  
ものごとを概念化して捉え、根源的な問いをたてる力

### 「知の理論」(1)(2)

- 教養教育科目, 1単位 x 2 学期 = 2 単位
- 第1~2 学期、火・金曜日、7 時限 (16:20-17:20)

**【授業の概要と目的】**  
国際バカロレア教育の基盤となっている「知の理論- Theory of Knowledge (TOK)」では、「知識とは何なのか」「何かを知っているというのは、どうやってわかるのか」など、知識について考える。  
この授業では、TOK流思考法で、いくつかの学問領域における実際の課題に取り組み。

**【教科書】**「知の理論をひもとく」

**【評価方法・成績】** 演習課題、分析発表、プレゼンテーション

バイリンガル→

### 「知の理論」(1)

- 履修できる学生：学部生、留学生、高校生

しかしながら・・・今年度は・・・

- 履修学生は全員学部2年生 15名(女子2名)
- 学部：工学部、環境理工学部、法学部、農学部、薬学部

### 「知の理論」(1) 授業計画

- 第1~2回：オリエンテーション「知るための方法」とは？
- 第3~4回：芸術の課題をTOKで考える「金魚をプレンターにかけるのは芸術？」  
・第5~6回：発表&ディスカッション「少女たちのひろしま」
- 第7回：国際バカロレア教育について
- 第8~9回：ヒューマンサイエンスの課題をTOKで考える「覆った死刑と裁判員制度」  
・第10~11回：発表&ディスカッション「ロボット演劇」「戸籍のない私は付録なんです」
- 第12~13回：自然科学の課題をTOKで考える「シカ熱と遺伝子操作した蚊」  
・第14~15回：発表&ディスカッション「動物のサイズと時間」

### 1つのテーマ(60分x4回) 授業の進め方

**実践例 (2時間)**  
教科書第2章

クラスで (ほとんどペア活動)

- テキストを読む → 単語の意味
- 家庭生活の状況 → 主張は?
- なんかな? (問い)
- 主張 (1) について
- 主張内容の説明 → 知るための方法
- (知識の領域)
- 個人的~共有された知識
- 主張に影響を及ぼす人や社会
- 主張に関する事象の変遷
- 主張を支える証拠
- 主張 (2)

**演習 (2時間)**  
教科書第3章

クラスで (グループ活動)

- 3人で1つのグループ
- 一人が5分ずつ、自分の課題で書いてきたことを発表
- グループで「主張」を一つ選び分析していく
- コンピュータに打ち込む
- 教師は、ファシリテーター
- 各グループの「根源的な問い」はみんなに検討

**日本語学習者はこの授業で何が学べるのか?**

### TOKにおける問い立てのプロセス

芸術家の自由/権利

虐待

苦しまなかった

実社会の状況	知識に関する主張	「問い」の探究	知識に関する問い
<ul style="list-style-type: none"> <li>個人的経験が元になっっているか</li> <li>「問い」をユニークに問うか</li> <li>疑問点、グループに問うか</li> <li>「問い」を引出すか</li> <li>その主張は、客観的に検証されているか</li> <li>その主張は、客観的に検証されているか</li> <li>その主張は、客観的に検証されているか</li> <li>その主張は、客観的に検証されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>その知識が真であるか</li> <li>その知識が真であるか</li> <li>その知識が真であるか</li> <li>その知識が真であるか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どの「知識」のための方法が用いられているか</li> <li>「個人的知識」と「共有された知識」がどのように関連しているか</li> <li>「知識」の領域を構成するものはどのようなものか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「知識」の方法が「知識」の領域にどう関連しているか</li> <li>「知識」の方法が「知識」の領域にどう関連しているか</li> <li>「知識」の方法が「知識」の領域にどう関連しているか</li> </ul>

領域の違う知識を知ること、私達が「知っている」と思っていることをどの程度拡大、または制限するだろうか?

### TOKはIBの全教科の基盤

IBの Language B 科目もTOKが基盤!

**TOK is central to the Diploma Programme, and the relationship between TOK and group 2 (=language acquisition) is of great importance.**



### IBの言語教育「Language B」では何をやるの?

必修の内容にはグローバル・イシューも

スタンダードレベル

SL	Core Communication and media Global issues Social relationships	HL
2 options Cultural diversity Customs and traditions Health Leisure Science and technology		Literature 2 works

ハイヤーレベルでは文学も!

Figure 2  
Language B syllabus outline

### Language B のめざすのは機能的な言語習得じゃない!

The aim of group 2 (Language Acquisition) are to:

- Develop students' **intercultural** understanding
- Enable students to understand and use the language they have studies in a range of contexts and for a variety of purposes
- Encourage, through the study of texts and through social interaction, an awareness and appreciation of **the different perspectives** of people from other cultures
- Develop students' awareness of **the role of language in relation to other areas of knowledge**
- Develop students' **awareness of the relationship between the languages and cultures** with which they are familiar
- Provide students with a **basis for further study, work and leisure** through the use of an additional language
- Provide the opportunity for employment, **creativity and intellectual stimulation** through knowledge of an additional language. (p. 8)



### 日本語B授業の実際

- 11年生の日本語B (Standard Level) 授業を参観。(東京のIB インターナショナル校)
- 参観したのは5月17日で、インターナショナルスクールでは学期末。
- 生徒16名 (うち男子6名。一人を除き日本で生まれ育つ。)

**【教室活動】11月のWriting外部試験に向けての練習**

- 3~4人のグループワーク。
- 5つの書く課題から1つ選び、課題文を読む。
- 先週は「形式 (テキストタイプ/フォーマット/ジャンル)」について話し合った。
- 今週は「内容」についてどんなことをどう表現すればよいかを話し合う。
- 話し合ったことをもとに、一人ひとりで書いて推敲する。

内容	形式
文化の多様性	パンフレット
習慣と伝統	学校新聞の記事
健康	ブログ
余暇	メール
科学と技術	スピーチ原稿

### 日本語B授業の実際

**【担当教師へのインタビュー】**

Q: 意図的にクラス活動にTOKを入れているか？

A: オープン・エンド・クエスションを聞くようにしている。

Q: 教師としてTOKはどのように役に立っているか？

A: 先を見据えて言語活動ができる。  
「何のために」教えるのかというゴールが先にあり、そのための活動を計画する。

**【観察してわかったこと】**

- ・辞書やその他の力を借りれば、大学の授業を受けるに十分な日本語力を備えている。
- ・教師に頼る前に、持参したコンピュータで自分で調べたり、生徒同士で助け合う体制ができています。

### Spanish B 授業の実際

- ・IB高校11年生のSpanish B (SL+HL合同) 授業を参観。  
(Nicholas Senn High School, Chicago)
- ・参観したのは6月8日で、学期末。
- ・生徒17名 (SLとHL半々。HLはほとんど全員家でスペイン語。)

**【教室活動】** 翌日のOral Exam のための練習

<テーマ> 芸術。特にアイデンティティを表現する形式としての音楽。

<導入> どんな歌手、ジャンルの音楽やダンスを知っているか。

<素材の提示> コロンビアでは騒動やセックスを誘引するような音楽を政府が禁止したという新聞記事

<ディスカッション> 記事についての賛成派と反対派の2つに分かれ、グループ内で意見交換

<ディベート> モデレーターが2名いて、意見が停滞したときに質問を投げかける。

### Spanish B 授業の実際

**【担当教師へのインタビュー】**

Q: 意図的にクラス活動にTOKを入れているか？

A: 常に考えさせる活動を行っている。

Q: 教師としてTOKはどのように役に立っているか？

A: 授業をプランし進める上で、Essential Questions とBig Ideaを設定するのに役立つ。

**【観察してわかったこと】**

- ・生徒たちはみんな、長文で自分の意見をしっかり表明している。
- ・Higher Level に比べて言語力が劣るStandard Levelの生徒たちにも配慮がされており、**言語力が思考力を妨げない工夫**がされている。

SLの生徒は、古いカード“BONOS”を出したら、英語でそこまでの議論をクラスに紹介したり、自分の意見を話したりすることができる。

### English B と TOK

←TOKについて30のコラムが書いてある。

**【例】** Steve Irwinについての記事の読解の横のコラム(p.242)

In the science it is important to make observations and measurements, but scientists' own presence can also disturb the very phenomena they wish to observe. This is called the '**observer effect 観察者効果**'. Steve Irwin's death raises an interesting knowledge question: **Can we observe something without affecting it 観察対象に影響を与えることなく観察できるのか?** You may wish to apply this question to many fields in a TOK presentation.



<https://www.australiazoo.com.au/about-us/the-irwins/steve/>

### CCBIの理念

- ・筆者らが目指すクリティカルアプローチは、物事を論理的に分析する技能、知識などの習得をめざすに留まらず、自分の置かれた現状や社会に内在する**社会的・慣習的な前提を問い直し**、その維持や変革に**能動的に関わっていこうとする意識・視点・姿勢・態度の育成**なども含む・・・ (p. 22)
- ・現在の日本語教育に必要なことは、日本語教育自体を「**語学**」の枠を越えた教育の中に位置づけることである。(p. 29)

CCBI/CBI

クリティカルシンキング

→ 両利性

Language B

TOK



### 大学の 問いへの答え

**「TOKは日本語教育に貢献できるか？」**

- ・Yes! 大学生には、知的に満足できる内容が提供できる。
- ・Yes! 教師には、自分の思考を見直し、「何のために教えるのか」再考する機会となる。
- ・Yes! 日本語プログラム全体が、「単なる」語学ではなく「内容のある大学教育を提供している」と言える。

さらに言うなら・・・ Yes! 大学教育がめざしている「**全人教育**」にリベラル・アーツの内容は歓迎される!

**【懸念事項：CBIに対してのいつもの反感】**

- ・言語能力は伸びるのか？

→それでも言えます。**TOKは大学の日本語教育に貢献できます!**

もっとTOKイベントを知りたくなったら...Unpacking TOK (Facebook)  
本を読みたくなったら...

The image shows three book covers. The first is 'Theory of Knowledge: Skills and Practice' by Oxford, featuring a golden spiral. The second is 'Theory of Knowledge: 2018年問題' by Oxford, featuring a grey spiral. The third is 'Theory of Knowledge: The Basics, Skills, and How to Use them' by Pearson, featuring a blue dome structure.

3 days IB Weekend in OKAYAMA 2018

### 第5回 国際バカロレアシンポジウム

「教育に枠はない - IB for everyone」

講演

- 1 "The Impact of IB Programs in an Economically Disadvantaged Area in Florida"  
Bのインフラストラクチャの経済的地理的視点で  
Douglas Trella  
Florida International University
- 2 "The Story of IB in Chicago"  
経典トピックス  
Sara Leven  
Chicago Public Schools

パネルディスカッション  
キックオフ、式典、ディンキング、講演、表彰式、英検やTOEFL等の  
発表の様子、国際バカロレア  
with Douglas Trella & Sara Leven

お問合せ先  
岡山大学アドミッションセンター

日本国際バカロレア教育学会  
第3回大会

受付開始	9:00
自由席開演	10:00
オスター発表	11:20
自由席開演	12:00
自由席開演	13:00
自由席開演	14:20
公開シンポジウム 「B生の声を聴こう」 Listen to their voices	15:40
本朝夕食会	17:30
解散	18:30

知の理論 ワークショップ  
"Teaching TOK to Low-Income Students:  
Personal & Shared Knowledge from a Chicago School"  
低所得世帯の学生に TOK を教えることの難しさ  
David Gregg  
Chicago Public Schools

お問合せ先  
岡山大学アドミッションセンター